

Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yoshio Iida 1-2-2 Moriminami-cho Higashinada-ku, Kobe 658-0011, JAPAN
 Mail : hfyoshio1945@hotmail.co.jp Phone : 078-452-3973
 URL : http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/



主 題
 国際協会会長 Kevin Cummings 「一つとなる力」
 「The Power of One」
 アジア地域会長 Chon Byung-Koo 「夢見るアジア、愛するアジア」
 「Dreaming Asia, Loving Asia」
 西日本区理事 鈴木 誠也 「すべてのいのちを大切に！」
 「Love & Care for All the Living Things」
 —いのち・平和・環境—
 —Life, Peace, Environment—
 六甲部部长 大田 厚三郎 「希望の灯(ともしび)となろう」
 「Be the Light of Hope」
 芦屋クラブ会長 飯田 義雄 「愚直に歩もう」
 「Let's Advance Day by Day」

会 長 飯田義雄
 直前会長 柏原佳子
 副 会 長 井上雅司 島田 恒
 書 記 堀江哲次 都筑省三
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 都筑省三 田舎庸男
 連絡主事 橋本 潤
 六甲部EMC事業主査 福原吉孝

2
 Feb. 2010
 第153号

地域奉仕について

都筑省三

地域奉仕担当として、TOF・CS・FF について書くようにとのことで、その言葉の意味もよく理解していない私としては、先ず「ワイズ読本」「ワイズ必携」「ハンドブック」を読むことから始めました。



ワイズの活動資金として集められるこれらの3つ資金は、西日本区運営スケジュールに

よれば今年度からは2月15日が献金期限になっています。また事業目標として、TOF(断食の時)は1人当たり1,760円、CS(地域奉仕献金)は1,500円、FF(家庭での断食)は1フアミー800円となっています。さて隅谷三喜雄先生は「ワイズ必携」の「21世紀のYMCAのミッション」と言う文章の中で、「YMCAのAは日本語で同盟と訳している。これは志を同じくする者の集りという意味である。しかし現代社会では、個が出てきた時、共同体が解体してしまっ。これから新しい出会いの場、共同体をどのように構築していくか。YMCAの役割は、人として育つ『訓練の場』とそれを支える『理念』を構築していくところにあるのではないか。」とされています。私たちの活動がYMCAに役立つものであることを願っています。

— TOF・FF・CS資金はワイズ活動のエネルギーの源、
 おおいに活用しましょう— 遠藤通寛地域奉仕事業主任

今月の聖句

だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。・・・なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。

コリントの信徒への手紙 II 12:9-10

2月第1(TOF)例会プログラム

- と き : 2010年2月17日(水) 19:00~21:00
 と ころ : ホテル竹園芦屋 9階
 司 会 : 加輪上敏彦 (敬称略)
 受 付 : 渡辺倫子・
 (受付にて、TOF・FF・CSを集めます)
1. 開会点鐘 飯田義雄会長
 2. クラブソング斉唱 一同
 3. 聖書朗読 羽太英樹
 4. タイワークキャンプゲスト挨拶
 5. 食前感謝 上野恭男
 6. 食事・歓談 一同
 7. ニコニコ(いい事一言) ドライバー
 8. YMCAニュース 橋本潤連絡主事
 9. 誕生祝い(堤和子) 飯田義雄会長
 10. 次期役員・クラブ委員選出 桑野友子次期会長
 11. 議事・報告
 - 1) 第2例会議事録承認 飯田義雄会長
 - 2) 各事業委員報告
 12. ニコニコ献金報告 福原吉孝(ファンド)
 13. 閉会点鐘 飯田義雄会長

1月例会出席表

第1例会出席者	例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー 13名	出席者 13名	110g (820gm)
ビジター 1名	メイキャップ 3名	柏原・吉岡
ゲスト 1名	合 計 16名	(敬称略)
メネット 1名	在籍者 18名	ニコニコ (累計)
マゴメット 1名	出席率 88・9%	10,375円(117,135円)
合 計 15名		

1月第1例会報告

日時：2009年11月18日(水)
場所：ホテル竹園芦屋 3階
司会：柏原佳子 (敬称略)
出席者：飯田、上野、柏原、加輪上、桑野、都筑、堤、
羽太、福原、堀江、吉岡、渡辺、飯田メネット&
橋本連絡主事
ビジター：多胡葉子(宝塚クラブ)

芦屋クラブの1月例会を報告する。飯田会長の開会点鐘で開会しクラブソング斉唱、羽太メンによる聖書朗読があり、芦屋クラブ恒例の3分間スピーチで吉岡メンの趣味である油絵を始めた動機、出会いのスピーチがあった。絵画教室に入ったら、突然、初めてなのに、デッサンをやらされ、冷や汗かきながら悪戦苦闘した逸話、“先生に「ウマなったなあ！」と褒められても増長を戒める言葉が続くので油断できない”ことなど、中々味わい深いスピーチであった。今では作品を絵画展に出品され、吉岡メンの大切な趣味として愉しんでおられるとの事であった。



ゲスト・ビジター紹介があり会食、歓談となり、本日のメインスピーチである芦屋クラブの加輪上敏彦メンより、「バングラディッシュあれこれ」についての話を拝聴した。

加輪上メンは関西ACEF(アジアキリスト教教育基金)の会の代表/ACEF理事として活躍され、「バングラディッシュに寺子屋を贈ろう」をテーマに教育の援助、協力を具体的に実施されている。バングラディッシュは、インドの西に位置していた西パキスタンであり、その後、バングラディッシュとして独立した国で大変貧乏であり、サイクロンの被害が大きい程度の知識しかない、加輪上メンの話は始めて聞く話ばかりであり、大変、新鮮な驚きを受けた。米、ジュート、茶を中心として農業国であり近年経済発展しているが、貧富の差が拡大しており、識字率は、48%と低く、男女間の格差があり、教育環境もまだまだ改善すべき課題が多いとの事であった。宗教はイスラム教である。バングラディッシュの貧困層に無担保小額融資を続けていたグラミン銀行、銀行を設立したムハマド・ユヌス氏が2006年度のノーベル平和賞受賞した話も紹介された。またバングラディッシュに派遣されていた宮川医師の活動状況の紹介などもあり、大変興味深く、拝聴した。

その後、参加メンバーとの質疑応答があり、加輪上メンの教育に関連した援助は、重要なテーマであることも理解できた。配布資料のACEF新聞などに写る子供達の「学校で勉強できるのがうれしい！」と書かれた写真の素直な笑顔がとても印象に残っている。その後、議事報告、YMCAニュース、ニコニコ献金報告があり、閉会点鐘となった。

本日の加輪上メンのスピーチ「バングラディッシュのあれこれ」有難う御座いました。加輪上メンが所属されているACEFを通じてバングラディッシュの子供達を支える具体的な活動に敬意を表したい。 福原吉孝

新春 YY フォーラム

～YMCA 発！世の中を明るく元気にするプロジェクト～

1月9日(土)神戸YMCAで掲題の例会が開催された。六甲部ワイズメンズ、YMCA リーダー、ユース委員で約130名が参加した。芦屋クラブから柏原直前会長、田舎、上野、桑野、羽太、堀江メンの6名が出席した。開会礼拝では古澤啓太牧師(神戸東部教会)より若さにあふれかつ感銘の深い奨励が行われた。使徒言行録からパウロが暴風に襲われたときに言った「あなたがたに勧めます。元気を出さない」を引用され、神様を信じて歩むときは救いがあることまた YMCA への深い思いを述べられ、心にズシリと響くものがあった。

ユース委員会報告では、フロストバレー YMCA キャンプ報告や地球市民育成プロジェクト参加報告があり、YMCA のユースの国際的な活動を興味深く聞いた。



グループ討議では9グループに分かれ「YMCA 発！世の中を明るく元気にするプロジェクト」について話し合った。YMCAリーダーたちが自由で健康で立派に育ちつつあることを思い、今後自分の夢を大事にしてさらに活躍してもらいたいことを痛感した。昨年の「生きる喜びはお金、それとも愛？」のデベートを思うと建設的な議論がなされていたように感じた。

ステージプログラムではワイズの六甲部活動報告と YMCA のクラブ紹介があった。ダンスクラブのタンゴ・ルンバや女性も混じったスタジオボクシングなどがあり、その華麗な演技と迫りに圧倒された。

グループ討議発表ではこの世の中を明るく元気にする9つプロジェクトが発表された。総評が松本文男 Y サ・ユース事業主査からあり、これらの発表はどれが良いというのではなく今後の種として実りが得られるように育てて行きたいとコメントされた。

新春 YY フォーラムは YMCA の若い人たちとのまじわりが得られる貴重な機会であり、多数のワイズとユースの参加を得て、今後ともワイズメンの経験・知恵とユースの活力・元気をプラスして世の中を明るく元気にできればと思った。 堀江哲次

鈴木西日本区理事より お願い！

広島・西日本区大会と横浜・国際大会への登録はお済みでしょうか？できるだけ早く登録をお願いいたします。

実行委員会は、必ず成功させねばなりません。一日でも早い登録で安心させてあげてください。二つの大会への参加は大変ですが、歴史に残る素晴らしい大会になります。夫々のクラブ・部で、できるだけ安い移動手段と宿泊を工夫してください。

理事事務局スタッフである大野勉ワイズは、登録推進を盛り上げるために、1月17日の阪神・淡路大震災記念日に神戸YMCAを出発し、一ブリテン3頁の「折るランが走り出しました！」を参照ください。沿道のワイズの方は応援して頂ければ幸いです。

日程・写真報告はHPにアップいたします。





ハイチ大地震募金活動(芦屋クラブ)

15年の時を経て淡路・阪神大地震の追悼記念行事、風化させない記憶と記録のニュースに個々の想いが再燃していた1月17日を前にして、TVからハイチ大地震の報道が飛び込んできました。ハイチYMCA3か所のうち本部がほぼ壊滅したにも関わらず、ワイズメンズクラブ東西にYMCA同盟を通じて早くから確かな現状が報告され支援活動の要請がありました。広報事業主任からも中部での支援活動報告がなされ、六甲部も24日(日)神戸YMCAと共に神戸大丸前での募金活動が実施されました。芦屋クラブは5年前から芦屋クラブ独自でJR芦屋駅とラポルテを結ぶ橋の上でその時々街頭募金を実施しています。奉仕のタイミングはいつもメンバーのあげる一つの声から始まります。呼びかけに応じて無理なく少し無理して集ったメンバー・メネット、西日本区理事が今回もご参加くださいましたが、「寒い！」「佐用町の時より反応が少ない？」と不安がよぎります。同じ思いのお仲間の優しい笑顔とまなざしが返され励まされます。小学生が痛々しいハイチの現場の映像写真に



足をとめ、小さな手で募金の後、ママとステップを踏んで立ち去る姿が微笑ましく彼らの未来を夢みます。第2例会へと向かう道はみな同じくらいのご協力をいただけたのだろうか？私たちの空腹と冷えと足の痛みはYMCA募金箱から溢れでてきた万札や輝く1円玉で喜びと幸せの感謝に変わりたちまち消え去りました。いつも思うのです。ワイズってなんだろう？小さな奉仕活動って何だろう？人が人を信頼できる仲間が確かにそこに在るこの実感が愛のエネルギーにかわるのかもしれない。飯田会長がキックオフ例会で話された「ハチスズメの一滴」の物語を思い出しています。

参加者：飯田・飯田メネット、田舎、上野、柏原、桑野、島田、都筑、羽太、堀江、吉岡(各メン)、また、渡辺ウイメン、島田メネット、森愛子事業主任のご協力を頂いています。
尚、献金額は 97,158 円でした。 柏原佳子

姫路ワイズメンズクラブ創立60周年記念例会に参加して

1月31日(日)、姫路クラブ創立60周年記念例会は午後2時に永戸昌和会長の開会点鐘・開会宣言で開会されました。「60周年誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。又、芦屋クラブ10周年記念例会には岩崎次期会長、村田メン・メネットにご出席頂き感謝を申し上げます。姫路クラブの創立60周年記念例会に出席したのは、「お祝い」「感謝」の気持ちを伝えるためと、島田恒メンの記念講演を聴く目的がありました。島田メンの講演は、2006年2月東京での講演会以来で、大変楽しみにしておりました。「もうひとつの社会を目指して」をテーマに、冒頭芦屋クラブの定刻主義でクラブのモットウを伝えた後、会場の全ての皆さんをひきつける熱のこもった講演は予定の50分間で終え、休憩時間や会終了後多くの方が島田メンを取り囲み賛辞をおくり、又、質問をしていました。記念例会の参加者は姫路YMCA山川理事長、鈴木西日本区理事、瀬戸山陰部・西中国部・六甲部部長並びに親クラブをはじめ60年の歴史を物語るDBC締結クラブや子クラブ、孫クラブから多くの方が参加し、



「折りづるラン」が走り出しました！

震災記念日の1月17日(日)14時、神戸YMCA玄関ロビーで「折りづるラン」の出発式があり、折りづるランナー大野勉ワイズを激励しました。

このランは、6月の西日本区大会と8月の横浜国際大会を盛り上げるイベントとして、理事スタッフの大野勉ワイズが提案し、自ら走ろうと企画されたのです。広島での西日本区大会のシンボル折りづるを、横浜大会にも運ぶ計画に則り、柏原事務局長命名の「折りづるランナー」は、神戸からスタートしてまず広島に走ります。土、日を利用して300キロを20キロくらいを繋いで走ろうというのです。



鈴木理事を始め、六甲部各クラブから多くの仲間が参加し、仁科次期理事夫妻も京都から駆け付けてくださいました。芦屋クラブからは、上野区書記、柏原事務局長、福原EMC主査、桑野ウイメン、渡辺ウイメンが参加しました。

この日は快晴で、森メネット主任から手縫いのタスキをかけてもらい、大野ワイズは14時半に友人と2人で走り始め、車で鈴木理事が伴走をしました。須磨ではイベントに参加していた高石ともやさんに激励され、明石まで第1日目は走ったそうです。3名の理事キャビネットを出している芦屋クラブでは、1月の第



2例会で「折りづるラン」に支援金を出して応援することを決めました。多くの費用がかかるため、他クラブの応援も望まれます。また、同時進行で神戸から横浜までの大野ワイズによる折りづるランが、1月30日(土)10

時にJR三宮駅前をスタートしました。これは、横浜までの600キロを走るにはギリギリのタイムスケジュールだからとのことでした。今年の6月の西日本区大会の楽しみが増えました……。

上野恭男

芦屋クラブからは島田メンのほかに柏原ウイメン、桑野ウイメン、井上参加了。記念例会は3部構成で第1部は会長挨拶など型どおりの進行に来賓として姫路YMCA山川理事長と西日本区鈴木理事の祝辞があり、第2部は島田メンの講演とアトラクション。アトラクションは永戸姫路クラブ会長の属する加古川西公混声合唱団のコーラスで50名の男女の皆様が全員ステージ衣装で登場し、多くの懐かしい曲を聴かせて頂きました。最後、アンコールで参加者全員と「千の風になって」の大合唱となりおおいに盛り上がりました。第3部の懇親会では、姫路クラブから姫路YMCAへ60周年記念目録が贈呈、姫路クラブと関係の深いクラブ会長よりの祝辞に加えて、大野勉メンが「折りづるラン」のブルーのたすきを掛けて登壇して状況の報告がありました。楽しい時間は瞬

く間に閉幕を迎えて次期瀬戸山陰部の菅原好紀部長の閉会挨拶でお開きとなりました。

姫路クラブの皆様お疲れ様でした。貴クラブの更なるご発展を祈念致します。 井上雅司

IBC…エチューカ Y サービスクラブの消息

横浜での国際大会もあと半年程に迫ってまいりました。IBCの申請書は前回デンマークに於ける国際大会直後に先方から先に提出され、次いで我がクラブが追随し共に申請は承認され、あとは両会長による証書への署名を残すのみという状態になって1年半が過ぎたわけです。皆さん、国際大会は署名式の最高の舞台だと思われませんか？

つい最近当方からのメールへの返信で彼等は今夏休み中で世の中が止まっているような感じで国際大会に参加するメンバーがあるか無いか何も分からない由です。先方からの大会参加の有無には関係なく、国際大会後有志で当方の夏休みに避暑記分でかの地を訪問することに致しませんか？

今一度我がパートナーの概要をおさらいしてみますと：創立は1963年と古くあと3年で創立50周年。IBC申請段階での資料によると会員数17名で平均年齢は63歳と我々と規模的に近い。所在地はメルボルンの北北西約200km。観光資源に恵まれた保養地のような印象を先方から送ってもらった案内パンフレットから受けています。最近のメールでの収穫は、当方が提案をしたお互いの国内使用済み切手の交換を交流の柱にすることに同意された事です。交流機会の日までこれまでに以上にせっせと古切手を集めようではありませんか！

交流担当 吉岡浩一

DBC…鎌倉クラブ訪問

1月29日(金)午後3時に鎌倉YMCAを訪問いたしました。池田光司会長、田中義宣直前会長、野澤ひろく館長の歓迎を受け感謝でした。

現状の話として横浜港北は伸びているが鎌倉は苦戦が続いているとのことで戸塚ワイズメンズクラブとの合同例会が多くなってきているとのことです。

クリスマス例会は岩井健作先生の話、小林道彦(元東京YMCA総主事)の出席もあり盛會に持つことが出来たとのことでした。田中さんは芦屋に来られ柏原直前会長、上野さんとの会食を懐かしくお話されておられました。芦屋クラブのように活力を取り返すべき努力を懸命に行ってる決意と新しい取り組みをお話されました。鎌倉観光散策に協力、わかめ例会(由比ガ浜でわかめとり)etc

鎌倉はじめ近隣のYMCA会員、知人、友人、教会員に例会、行事集会の案内等を行う。困難の中にも懸命に働かれておられるお姿に感銘を受けると同時に大きな刺激を受けYMCAを後にしました。

飯田義雄

1月第2例会議事録(抄)

日時：2010年1月27日(水)19:00～21:00

場所：市民センター 212会議室 (敬称略)

出席者：飯田会長、上野、柏原、桑野、橋本、羽太、福原、堀江、吉岡(9名)

報告・協議・確認事項

第2例会の前にYMCA・芦屋ワイズメンのハイチ大地震支援募金活動がJR芦屋駅前で終わった。(今月号に掲載)

◇神戸クラブ80周年祝会(2月20日)=8名参加

飯田、田舎、上野、柏原、桑野、堤、吉岡&町永氏

◇折り鶴=広島大会用に3月中に1,000個作成目標(メネットががんばって作成中)

◇みどり作業所バザー=ゆず製品(ゆず絞り、ゆずパッパ)の残り分相当をみどり基金に入れて後日寄付する。

◇六甲部次期/現会長懇談会(2月22日に開催)

要望事項があれば飯田会長に連絡する。

◇2月TOF例会にてクラブ役員、事業委員決定する。

会長の選任方法=現/次期会長間での協議、会長経験者で構成する会長選考会で協議等、今後検討する

◇12月度会計報告=羽太メンより資料に基づき行われ、承認された。※会費未納メンバーに対し本人に継続の意思を確認して、会費の納入を求める。

◇タイワークキャンプ参加者へ10万円を支援する。

◇さくら祭り説明会(2月2日)=飯田会長が申込を行う。

◇留学生交流会(2月10日)

大田六甲部長、大野メン(ポートクラブ)が参加。大野メンの歌とマラソンの挨拶の後、マラソンの激励金を渡す。

◇三田バレンタインコンサート(2月13日)=杉村メンより8枚の招待チケットあり、飯田会長(4枚)ほか残り4枚は柏原交流委員が2月10日(留学生交流会)で参加者渡す。

書記 堀江哲次

YMCAニュース

連絡主事 橋本潤

◇ハイチ救援街頭募金活動

1月24日(日)元町の丸前で30名近いボランティアが集って街頭募金を実施、19万円余の義捐金を頂きました。

◇2010年2月は維持会員増強月間!!

Yサポーター・ウエルカム・キャンペーン

今後の予定

◇第24回午餐会

日時：2月13日(土)正午～午後2:30

場所：神戸YMCA 4F サイコー亭

テーマ：「安心できる相続準備～遺言状よもやま話～」

講師：田中久喜さん(みずほ信託銀行神戸支店
プライベートバンキング室上席室長)

会費：3,000円

◇神戸YMCAサポートプログラム15周年記念講演会

日時：2月28日(日)午後1:00～5:00

場所：よみうり神戸ホール(JR元町駅、阪神元町駅より

内容：基調講演 南へ徒歩5分)

「コミュニケーションの力を育む」中川信子氏

シンポジウム (言語聴覚士)

「さまざまな角度からのアプローチ」竹田契一氏他

参加費：1,500円 (大阪医科大学)

◇マザー・テレサ生誕100年記念写真展

～マザー・テレサは生きている～

日時：3月25日～4月8日 11:00～19:00

場所：神戸新聞社ギャラリー(JR神戸駅徒歩5分)

入場：無料

ユースプラザKOBE・EASTプログラムのご案内

◇第12回フリーマーケット

日時：2月13日(土) 11:00～16:00

◇第3回次世代を育てるセミナー 無料特別講演会

「思いやりの育み～支え合う社会～」

日時：2月14日(日) 15:00～16:30

講師：稲場 圭信(神戸大学大学院准教授)

※ 事前にお申し込みください